

2024 第3回駿台学力テスト 中1 出題のねらい【英語】

出題範囲は、助動詞 can・頻度の副詞・名詞の複数形（不規則変化）・代名詞の目的格・所有代名詞等です。2学期の後半に実施するテストということで、これまでの学習の成果が出やすい問題となっています。今後の英語学習の基本となる文法内容が多く出題されているので、この時期にしっかりと理解しておきたいところです。

1 長文読解問題

ある親子が市場に果物屋を開き、客を大切にしない父親に不信感を持つ娘に経営が変わってから、客の評判を呼び商売がうまくいくという話です。問1の適語選択（反意語）は、中1のこの時期ではやや難しい語ですが頻出語なので、できなかった人はこの機会に覚えておくとよいでしょう。問3の和訳の(2)はまず、疑問詞 why「なぜ」と否定疑問文「～しないのですか」の訳し方がポイントです。さらに、people in the market を「市場にいる[の]人々」と in the market が前の people を修飾する形で訳していることもポイントになります。(5)は listen to 人「人の言うこと[話]を聞く」の訳し方、them の指すものを「客」と明らかにして訳することがポイントです。問6の内容説明は下線部(7)の a miracle「奇跡」の具体的な内容が直前の2つの文に書かれているので、この部分を指定の字数の日本語にまとめます。問7の答えとなる run(s)は「走る」の他に「経営する、運営する」という意味があります。この機会に覚えておきましょう。

2 対話文完成問題

5問とも対話文の空所の前後をしっかりと読めば、正解の文を選ぶのにさほど迷わないかと思います。1については、先に自分の母親の仕事を話題しているので、How about your mother?「あなたのお母さんはどう[の仕事は何]ですか。」が最も適切です。

3 適語補充問題

1の hour「時間」のように、語頭の文字が発音しない文字で、その後に母音がかかる語の直前の冠詞は an になることを覚えておきましょう。5の日本語「彼女たちの」に当たる語は「彼らの」と同じ their になります。また、主語が三人称単数の be 動詞の疑問文なので、Is で始めることも間違えないようにしましょう。

4 書き換え問題

1の否定文は, some を any に変えることがポイントです。別解として, eats no vegetables あるいは, never eats any vegetables も正解です。3は主語を They に変えるだけでなく, be 動詞を are に変え, 冠詞の a を取り, gentleman を複数形の gentlemen にします。2・4・5はそれぞれの下線部の語句から文頭に置く疑問詞を判断します。

5 連立完成問題

1は a friend of ours 「私たちの友達の一人」になりますが, of の後は所有代名詞がくることをしっかり覚えておきましょう。3は belong to 「～に所属する, ～のものだ」という語句の知識を必要とする問題です。belong は一般動詞なので, 主語が三人称単数のときは, 語尾に三単現の s をつけることを忘れないようにしましょう。4は「週末」で weekend です。5は nephew 「甥」の単語の知識はもちろんですが, 「甥」は「自分の兄弟姉妹の息子」です。

6 整序英作文問題

2は日本語を「クラークはとても上手なドイツ語の話し手です。」と読み替えて, 文を作りますが, <a speaker of 言語>の語順になるかが大事なポイントです。4は主語「テーブルの下にいるあの猫は」を That cat under the table と並べ替えれば, その後は述語動詞の be 動詞 is が続くだけです。5は<Who + 一般動詞の三単現の形>「だれがしますか」で始めますが, <take 人 to 場所>「人を場所に連れて行く」の語順をしっかり頭に入れておくことが必要です。

7 語い問題

2は「明るい」に対して, dark 「暗い」が適切ですが, dim 「薄暗い」なども別解として正解になります。4は地理の知識問題ですが, アメリカ, イギリス, フランスなど主要な国の首都は一般常識として覚えておきましょう。5は bike 「自転車」を目的語とする他動詞 ride 「(運転して) 乗る」の関係になるので, car 「自動車」に対しては, drive 「運転する」が最も適切です。

8 発音問題

今回の問題は,単語のアクセントと発音の融合問題です。設問, 選択肢には外来語が多く, 日本語とはアクセントが異なる語が含まれています。全体的にはあまり正解率が高くないことが予想されます。英単語を覚えるときは, 声に出して正しく発音することを心掛けましょう。

2024 第3回駿台学力テスト 中1 出題のねらい【数学】

これまでに学んだ内容を考慮し、方程式や比例・反比例を中心に出题をしています。難しい問題ばかりではなく、基本的な問題も出題し、平均点が低くなりすぎないように、また、比較的幅広い学力層の受験生が実力を試せるように配慮しています。

1 計算問題（正負の数，文字式，方程式）

計算力の確認をしています。正負の符号の扱いや通分でミスをしないように気をつけましょう。(3)や(4)のように、小数や分数を係数とする式の計算、方程式において、正しく解ききれるようにしておきましょう。

2 小問集合（方程式の利用，比例と反比例）

方程式を中心に、様々な問題を出題しました。(2)は、比例や反比例の関係を式で表せるようにしておきましょう。(3)は、食塩の質量に着目する考え方を身につけておきましょう。(4)は比例式をもとに方程式をつくれるようにしておきましょう。

3 方程式の利用（小数，不等号）

問題文の説明から、 a がどのような値であるかを把握することがポイントです。いくつかの数で実験してみても、規則が見つからないか探してみるのもよいでしょう。(2)、(3)はでは、与えられた条件をもとに、方程式をつくれないうか考えてみましょう。

4 比例と反比例（グラフ，方程式の利用，座標と面積）

x 軸上や y 軸上にない点を1つとることで、この点を通る比例のグラフや反比例のグラフが定まることに着目します。問題文における計算の例をもとに、(1)、(2)を考えるとよいでしょう。(3)は、座標平面上における図形の面積を求めます。図形を三角形や台形などに分割したうえで、線分の長さを正しく求めることに気をつけましょう。

5 方程式の利用（売上）

商品の売買を題材とした、方程式の問題です。原価や定価が日によって変わり、さらに在庫の繰り越しもありますので、情報を整理することが必要です。整理した情報をもとに、それぞれの設問を解くのに必要な情報が何かを考え、方程式をつくるようにしましょう。

6 文字式の利用（速さ）

速さを題材とした、方程式の問題です。(1)は、2つの辺の長さの比をもとに、それぞれの長さを文字で表しましょう。(2)は、同じ距離を移動するときにかかる時間と速さが反比例の関係にあることを用いると考えやすくなります。なお、置き換えを使った解法も考えられます。(3)は、それぞれの点が長方形の頂点を通るごとに速さが変わるので、頂点を通過するまでの時間を調べる必要があります。これをもとに方程式をつくっていきましょう。

2024 第3回駿台学力テスト 中1 出題のねらい【国語】

一年生の二学期後半という時期に合わせて、基本的な知識である漢字と文法、論説文と随筆文という散文、短歌と俳句という韻文と、幅広い内容の問題を出題しました。これらの問題を解くことによって、現在の総合的な国語力を判断できるようなテストとしました。

目標点は45～50点。

㊦ 漢字の読み書き

(1)は同音異義語との区別、(4)は同訓異字との区別を意識させるために出題しました。また、(5)・(6)・(7)はこのような単語を知っているかどうかポイントになります。同音同訓の漢字はテストに出されやすいので、今後も注意が必要です。

㊦ 論説文の読解…………… 三枝春生『ふしぎの博物誌』より「神戸で見るサイの夢」

古生物学者が書いた化石にまつわる文章を採り上げました。人間と自然との関わりについての文章は、入試にもよく取り上げられますし、中学一年生の時期に興味を持って読んでおいてほしいジャンルです。化石の持つ魅力を理解し、興味の範囲を広げてほしいと思います。設問は文章をしっかりと読み込むと解けるものばかりで、難問はありません。問一と問八は問題文に対する丁寧な読みが特に必要です。また、問七の記述問題は設問に合わせた答え方ができるかどうかポイントになります。

㊦ 随筆文の読解…………… 森百合子『旅が好きだ！21人が見つけた新たな世界への扉』より「今年もまた北欧へ行ってしまう理由」

北欧の魅力に取りつかれた筆者の、様々な側面から旅の面白さについて語った文章を採り上げました。多様な世界の多様な文化や価値観などを知ることによって、未知の世界への関心や理解を深めてほしいと思います。問一の記述問題は書くべき内容をきちんと整理できるかどうかポイントになります。内容を述べる際に必要な語句を落とさないことも大切です。また、問八は問題文全体に対する細やかな注意力が必要となります。

四 短歌・俳句の鑑賞

様々な「表現技法」・「切れ字」・「季語と季節」といった短歌と俳句に特有な知識をふまえた問題と、作品の内容をふまえた問題をバランスよく幅広く出題しました。基本的な問題ばかりなので、間違えたものや知らなかったものはしっかりと覚えておくようにしましょう。また、問六は、文学史における重要な人間関係に関わる知識問題も出題しています。

五 文法

文の成分という文節の働きを問う、基本的な文法問題を出題しました。問題としての難易度はあまり高くありませんが、文法における今後の学習課題である品詞分類をしっかりと理解していくためには、基礎となる項目です。不正解だった問題は解説をしっかりと読んで、正解への考え方を身につけてほしいと思います。